

目的(総合計画)
農地生産基盤の整備を行うとともに、次世代農業を進め、安心・安全な生産を行い、消費者から信頼される産地づくりの実現
任務目的(係の目的)
農業振興を図るとともに、次世代農業を推進する
業務概要
農業の振興を図るため、優良農地の確保や消費拡大を推進するとともに、担い手の確保・育成に取り組む

2桁 大分類	4桁 中分類	6桁 小分類		
01 更なる農業の振興	0101 優良農地の確保	010101 農業振興地域整備計画定期変更		
		010102 農業振興地域整備計画における個別案件の処理		
		010103 農業振興地域整備促進協議会の運営		
		010104 農地所有権移転、使用貸借権(農地法3条)		
		010105 農用地利用権設定・解除		
	0102 米の安定化対策の実施	010201 農地保有合理化事業の実施		
		010202 農用地利用集積計画の管理		
		010203 米の生産調整(米の需給調整円滑化推進事業)		
	0103 消費拡大の推進	010301 水田農業推進協議会		
		010302 水稻採種圃事業		
		010303 畜産物に関する消費拡大		
		010304 学校における地産地消		
		010305 野菜の振興		
		010306 農業生産技術向上支援・消費拡大事業の実施		
	0104 中山間地域に対する支援	010401 農業適正使用・環境保全農業の実施		
010402 菊川市食育連絡会				
0105 農業者の安全確保	010501 中山間地域等直接支払制度の活用			
	010502 農作業安全・機械化研修の実施			
02 次世代農業の育成	0201 担い手の確保	020101 災害・被害報告に対する対応		
		020102 担い手協議会の運営		
		020103 農業経営基盤強化促進(認定農業者)		
		020104 新規就農者支援の実施		
		020105 農業資金融資の実施		
		020106 農業振興会(認定農業者の会)		
		020107 ファーミングプランの運営		
		020108 農業者年金		
		020109 農村交流		
		020110 農業経営士・青年農業者・女性農業者		
		03 適正な農業委員会の運営	0301 農業委員会の運営	030101 農地転用に関する事務(4条・5条)
				030102 農地理立届の事務
				030103 納税猶予
				030104 小笠地区農業委員協議会
				030105 農家台帳の整備
030106 農地に関するシステムの管理				
99 その他業務	9901 国・県・市関係事務処理	990101 国有農地の管理		
		990102 農林統計		
		990103 基本構想		
		990104 中遠地域農業振興協議会		
		990105 各種証明事務		
		990106 油脂・肥料高騰に伴う事務処理		
	9902 その他業務	990201 議会・監査対応		
		990202 予算作成		
		990203 条例等改正		
		990204 文書管理(ファイリング)		
		990205 行政評価事務		
		990206 課内庶務		

業務棚卸表(個表)

総合計画	基本方針 (総合計画 P14~P17)	6.躍進する産業のまち【産業】	平成21年度	作成日	平成21年12月25日	
	施策の柱	1.農業振興と次世代農業の育成 (総合計画 P74~P75)	部コード	40	部名	建設経済部
			課コード	43	課名	農林課
			シート	1/3	係名	農業係

目的・業務概要		管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	職員配置	備考
目的 (総合計画)	農地生産基盤の整備を行うとともに、次世代農業を進め、安心・安全な生産を行い、消費者から信頼される産地づくりの実現	安全・安心で魅力ある農作物が生産されていると思う人の割合	72.7%	71.2% (初年度実績)	23年度	—	正規5.6人 嘱託0.0人 臨時0.8人	認定農家数は、新規で増える要素より高齢化で減っていく傾向がある
任務目的 (係の目的)	農業振興を図るとともに、次世代農業を推進する	認定農業者数	経営体 260	経営体 335	23年度	☆☆☆		
		担い手への農用地利用集積面積	376ha	1,123ha	23年度	☆☆☆		
業務概要	農業の振興を図るため、優良農地の確保や消費拡大を推進するとともに、担い手の確保・育成に取り組む	適正実施率	100%	100%	23年度	☆☆☆		

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	人工 【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
01			更なる農業の振興	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	4,402	農林課としては、件数が少ないほうが良い。 除外の申請がなければ、開催はなくなる。農林課としてはないほうが良い 利用権設定326件、解除54件 水出協議会は、JAが行っている。市が協力している。
	0101		優良農地の確保	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	2,826	
		010101	農業振興地域整備計画定期変更	5年に1度見直し、必要があれば変更	100%	100%	24年度	☆☆☆	200	
		010102	農業振興地域整備計画における個別案件の処理	申請件数	100%	100%	21年度	☆☆☆	1,150	
		010103	農業振興地域整備促進協議会の運営	開催数	1	1	21年度	☆	376	
		010104	農地所有権移転、使用貸借権(農地法3条)	申請件数	38	50	23年度	☆☆	200	
		010105	農用地利用権設定・解除	申請件数	380	400	21年度	☆	700	
		010106	農地保有合理化事業の実施	事業実施数	0	1	23年度	☆☆☆	100	
		010107	農用地利用集積計画の管理	集積面積	60	80	23年度	☆☆	100	
	0102		米の安定化対策の実施	20					866	
		010201	米の生産調整(米の需給調整円滑化推進事業)	参加人数	1,180人	1,300人	23年度	☆	300	
		010202	水田農業推進協議会	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	400	
		010203	水稻採種圃事業	契約に対する合格率	92	90	21年度	☆	166	
	0103		消費拡大の推進	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	410	
		010301	畜産物に関する消費拡大	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	20	

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	人工【時間数】	備考	
2桁	4桁	6桁									
		010302	学校における地産地消	学校給食の食材採用件数	0	1	23年度	☆☆	100	現在、ファーマーンプランで試食会等により検討中	
		010303	野菜の振興	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	10		
		010304	農業生産技術向上支援・消費拡大事業の実施	利用件数	4件	5件	23年度	☆	150		
		010305	農薬適正使用・環境保全農業の実施	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50		
		010306	菊川市食育連絡会	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	80		現在、ファーマーンプランで試食会等により検討中
		0104	中山間地域に対する支援	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	200		
		010401	中山間地域等直接支払制度の活用	採択件数	1件	1件	21年度	☆	200	中山間の支援は21年度で終了	
		0105	農業者の安全確保	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100	県の農業機械研修計画の中で実施している。農家の申請者が申請することにより受講できる。	
		010501	農作業安全・機械化研修の実施	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50	県の農業機械研修計画の中で実施している。農家の申請者が申請することにより受講できる。	
		010502	災害・被害報告に対する対応	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50		
	02			次世代農業の育成	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	4,009	
	0201		担い手の確保	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	4,009		
		020101	担い手協議会の運営	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	200		
		020102	農業経営基盤強化促進(認定農業者)	利用件数	32件	40件	23年度	☆☆☆	1,676		
		020103	新規就農者支援の実施	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100		
		020104	農業資金融資の実施	利用件数	10件	20件	23年度	☆☆	600		
		020105	農業振興会(認定農業者の会)	加入者数	361人	370人	23年度	☆☆	400	小笠地区は、認定農業者以外が参加。基本認定農家。高齢化等により参加者は減少傾向がある。菊川市が中心となり、農家の奥さんにより、運営。現在学校給食の地産地消に取り組んでいる・新規加入者が伸び悩み。加入者は必然的に減少傾向である。	
		020106	ファーマーンプランの運営	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	350		
		020107	農業者年金	加入者数	57人	65人	23年度	☆☆	526		
		020108	農村交流	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50		
		020109	農業経営士・青年農業者・女性農業者	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	107		
03			適正な農業委員会の運営	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	2,100		
	0301		農業委員会の運営	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	2,100		
		030101	農地転用に関する事務(4条・5条)	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	1,500		
		030102	農地埋立届の事務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100		
		030103	納税猶予	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50		
		030104	小笠地区農業委員協議会	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50		
		030105	農家台帳の整備	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	200		
		030106	農地に関するシステムの管理	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	200		

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	人工 【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
99			その他業務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	770	
	9901		国・県・市関係事務処理	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	310	
		990101	国有農地の管理	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	20	
		990102	農林統計	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	20	
		990103	基本構想	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	80	
		990104	中遠地域農業振興協議会	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50	
		990105	各種証明事務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	90	
		990106	油脂・肥料高騰に伴う事務処理	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50	
	9902		その他業務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	460	
		990201	議会・監査対応	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100	
		990202	予算作成	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100	
		990203	条例等改正	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100	
		990204	文書管理(ファイリング)	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	10	
		990205	行政評価事務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50	
		990206	課内庶務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100	

平成21年度 総括表

所属	建設経済部 農林課 農業係	係 表番号	1/3	内 線	1541			
総合計画の位置付け								
基本方針:6.躍進する産業のまち【産業】 施策の柱:1.農業振興と次世代農業の育成 (総合計画 P74~P75)								
目的	総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目標	期限
農地生産基盤の整備を行うとともに、次世代農業を進め、安心・安全な生産を行い、消費者から信頼される産地づくりの実現	安全・安心で魅力ある農作物が生産されていると思う人の割合	72.70%					71.2% (初年度実績)	23年度
任務目的	農業振興を図るとともに、次世代農業を推進する	認定農業者数	経営体 260				経営体 335	23年度
		担い手への農用地利用集積面積	600ha				1,123ha	23年度
業務概要	農業の振興を図るため、優良農地の確保や消費拡大を推進するとともに、担い手の確保・育成に取り組む	適正実施率	100%				100%	23年度
【目的(総合計画)管理指標の動向】								
農薬等のトレービリティや食の安全・安心についての市民の関心は上がっている。産地偽装等の問題もあり、地産地消・安全安心な農産物への要求は上がっている。								
【現状】								
茶価の低迷、農残物価格のデフレ化等による影響で年々農家の所得は低下傾向である。農家世帯の高齢化・農作物の価格の低迷等により、担い手の減少傾向がある。それに伴い、耕作放棄等の問題が年々増加している。								
【現状の課題】								
認定農家数の減少がある。新規担い手も増えてはいるが、大幅な増とはなっていない。新しい傾向として、法人による新規就農(サングレース等)により集積と農産物の生産は活発となっている。また、企業による農業生産法人の参入もあり集積が進んでいる。ただし、個々の農家の元気がなくなっているため、耕作放棄地等は、今後増える傾向がある。農家が農業で生活が出来るような農業を検討する必要がある。また、複合経営や売れる農作物の選定を今後行う必要がある。								
【次年度改善措置】								
国の直接補助金を受けるためには、各市にある担い手協議会の知事承認が必要となるが、平成21年度に承認を取り、平成22年度よりの国補助金等の対応が可能となっている。耕作放棄地対策についても、耕作放棄地対策委員の立ち上げも行い、平成22年度からの対応可能となっている。各地域で、耕作放棄地に対応するグループが立ち上がりつつあり、これに対する支援を行う。個々の農家にアンケートを平成21年12月に実施を行い、今後の農地利用集積等を進めると共に、耕作放棄地の減少についての対応を進める。								

目的(総合計画)
「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など良い環境が保たれている社会の実現

任務目的(係の目的)
市内の緑化活動を通じて、良い環境が保たれるようにする

業務概要
美しい空間環境を創造するため、各種緑化推進事業を実施するとともに、花の会などの団体への活動支援を行う

2桁 大分類
01 美しい空間環境の創造

4桁 中分類
0101 緑化の推進

6桁 小分類	
0101	01 花の会の運営
	02 緑化推進協議会の運営
	03 緑化推進事業の実施
	04 桜の名所保護・保存事業の実施

業務棚卸表(個表)

総合計画	基本方針 (総合計画 P14~P17)	6.躍進する産業のまち【産業】	平成21年度		作成日	平成21年12月25日
	施策の柱	1.美しい空間の創造 (総合計画 P66~P67)	部コード	40	部名	建設経済部
			課コード	43	課名	農林課
			シート	2/3	係名	農業係

目的・業務概要		管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	職員配置	備考
目的 (総合計画)	「きれいな空気、清らかな川、静かななち」など良い環境が保たれている社会の実現	身近に自然を感じられる場所が多くあると思う人の割合	86.7%	78.9% (初年度実績)	23年度	—	正規0.4人 嘱託0.0人 臨時0.1人	
任務目的 (係の目的)	市内の緑化活動を通じて、良い環境が保たれるようにする	活動を実施する自治会・花の会等団体数	2団体	3団体	23年度	☆☆		
業務概要	美しい空間環境を創造するため、各種緑化推進事業を実施するとともに、花の会などの団体への活動支援を行う	パンジー等配布本数	1,408本	2,000本	23年度	☆		

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	人工【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
01			美しい空間環境の創造	緑化推進団体数	2団体	3団体	23年度	☆☆	870	
	0101		緑化の推進	花の会会員数	480人	500人	21年度	☆	870	
		010101	花の会の運営	活動日数	50日	50日	21年度	☆	300	
		010102	緑化推進協議会の運営	募金金額	1,300千円	1,500千円	21年度	☆	100	
		010103	緑化推進事業の実施	記念樹配布本数	660本	700本	21年度	☆	420	
		010104	桜の名所保護・保存事業の実施	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50	

平成21年度 総括表

所属	建設経済部 農林課 農業係	係 表番号	2/3	内 線	1541				
総合計画の位置付け									
基本方針:6.躍進する産業のまち【産業】 施策の柱:1.美しい空間の創造 (総合計画 P66～P67)									
目 的		総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目標	期限
「きれいな空気、清らかな川、静かななち」など良い環境が保たれている社会の実現		身近に自然を感じられる場所が多くあると思う人の割合	86.7%					78.9% (初年度実績)	23年度
任務目的	市内の緑化活動を通じて、良い環境が保たれるようにする	活動を実施する自治会・花の会等団体数	2団体					3団体	23年度
業務概要	美しい空間環境を創造するため、各種緑化推進事業を実施するとともに、花の会などの団体への活動支	パンジー等配布本数	1,408本					2,000本	23年度
【目的(総合計画)管理指標の動向】									
<p>菊川市は、緑が多く残っており、市民が自然を感じられる場所が多いため、自然環境があると答える人の割合が多い。都市部については、花の会等により、四季の花が植えられており、緑化推進が進められている。</p>									
【現状】									
<p>都市公園が公園面積のほぼ出し部分を占めるが、その管理は、都市計画課で行われている。農村公園については、農林課が管理を行っている。緑化の推進は、緑化推進協議会と花の会で推進をおこなっている。 また、花の種、球根等の配布を自治会、保育園、学校等に行い、緑化の推進を行っている。河城地区では、緑の少年団が緑化推進を行っている。</p>									
【現状の課題】									
<p>都市公園、農村公園の管理費に付いては、市単独事業で行っているが、その維持管理について、地元が協力できる箇所については、管理を地元へ依頼できるよう推進をしていくことが大事である。地域へ管理を任せることにより、地元公園としての管理と緑化等の意識が芽生えてくると感じる。花の会については、新規会員が少なく、現在の会員の平均年齢が高いことがある。花の会のPRと新規会員の募集を進めていかないと、今後、会員の人数がかなり減少する。緑の少年団は、今後はその維持が難しい。</p>									
【次年度改善措置】									
<p>庁舎内の花花壇管理及びけやきの花壇管理は、花の会に委託して行っているが、市単独であるためその維持が難しい。庁舎内管理の一環であるので、管理をおこなう課が一括で委託を行うべきではないか。今後、花の会の会員が減少し、委託が難しい状況も予想される。花の会会員の募集については、広報、HPで今後行って行きたい。自治会、保育園、幼稚園、学校等の種、球根の配布のみを行っているが、緑化意識の向上のため、花壇のコンテスト等のしかけ考え、緑化意識の高揚を図りたい。</p>									

目的(総合計画)
「きれいな空気、清らかな川、静かななち」など良い環境が保たれている社会の実現
任務目的(係の目的)
自然環境の保全を通じて、良い環境が保たれるようにする
業務概要
自然環境の保全のため、森林の整備を推進するとともに、鳥獣の保護などにも努める

2桁 大分類
01 自然環境の保全

4桁 中分類
0101 森林の整備
0102 鳥獣の保護・有害鳥獣の駆除

6桁 小分類
0101 01 森林整備計画の変更・管理
0101 02 森の再生事業の実施
0101 03 松くい虫の駆除
0102 01 法律に伴うメジロの飼育に関する届出・許可
0102 02 有害鳥獣捕獲申請の受理・許可
0102 03 鳥獣の保護

業務棚卸表(個表)

総合計画	基本方針 (総合計画 P14~P17)	5.輝くみどりのまち【環境】	平成21年度		作成日	平成21年12月25日
	施策の柱	1.自然環境の保全 (総合計画 P70~P71)	部コード	40	部名	建設経済部
			課コード	43	課名	農林課
			シート	3/3	係名	農業係

目的・業務概要		管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	職員配置	備考
目的 (総合計画)	「きれいな空気、清らかな川、静かななち」など良い環境が保たれている社会の実現	良い環境が保たれていると思う人の割合	60.6%	54.4% (初年度実績)	23年度	—	正規1.0人 嘱託0.0人 臨時0.1人	
任務目的 (係の目的)	自然環境の保全を通じて、良い環境が保たれるようにする	適正実施率	100%	100%	21年度	☆☆		
業務概要	自然環境の保全のため、森林の整備を推進するとともに、鳥獣の保護などにも努める	適正実施率	100%	100%	21年度	☆		

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	人工 【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
01			自然環境の保全	適正実施率	100%	100%	21年度	☆	1,916	
	0101		森林の整備	適正実施率	100%	100%	21年度	☆	650	
		010101	森林整備計画の変更・管理	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	50	
		010102	森の再生事業の実施	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	400	
		010103	松くい虫の駆除	予防剤注入本数	26本	26本	21年度	☆	200	
	0102		鳥獣の保護・有害鳥獣の駆除	適正実施率	100%	100%	21年度	☆	1,266	
		010201	法律に伴うメジロの飼育に関する届出・許可	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	200	
		010202	有害鳥獣捕獲申請の受理・許可	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	966	
		010203	鳥獣の保護	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	100	

平成21年度 総括表

所属	建設経済部 農林課 農業係	係表番号	3/3	内線	1541			
総合計画の位置付け								
基本方針:5.輝くみどりのまち【環境】 施策の柱:1.自然環境の保全（総合計画 P70～P71）								
目的	総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目標	期限
「きれいな空気、清らかな川、静かななち」など良い環境が保たれている社会の実現	良い環境が保たれていると思う人の割合	60.6%					54.4% (初年度実績)	23年度
任務目的	自然環境の保全を通じて、良い環境が保たれるようにする	適正実施率	100%				100%	21年度
業務概要	自然環境の保全のため、森林の整備を推進するとともに、鳥獣の保護などにも努める	適正実施率	100%				100%	21年度
【目的(総合計画)管理指標の動向】								
総合計画の管理指標である市民満足度(アンケート結果)については、初年度実績と比較するとやや増加している。								
【現状】								
菊川市には森林組合がなく、また植林等を行った箇所の管理が、管理者の高齢化等により出来なくなっている状況がある。山の管理については、荒れた山林がお多くなり、イノシシ、狸等が里山に出没する傾向が出てきた。また、県単事業による森の再生事業については、地元がまとまり、里山の森林再生について関心が高まってきている。山林荒廃に伴い、有害鳥獣の被害報告が近年増えてきている。掛川市ほどの被害規模ではないが、徐々に増えている。								
【現状の課題】								
農地や森林の保全については、所有者の高齢化等により荒れてきている。里山に近い箇所で保安林以外は森の再生事業で、県の採択があれば事業が実施が可能である。ただし、自治会等のまとまりがないと難しい。(地元が業者を決めて、実施する)事業のPRを地元にするなかで、事業実施箇所を増やして行きたい。イノシシ等の有害鳥獣駆除の依頼は多くなってきているが、地域で野菜等を近場に捨てない、放置しないこと、また生ゴミ等を放置しない等を行い里山にイノシシ、狸等を近づけない等の地域の取組が大事である。								
【次年度改善措置】								
森の再生事業については、市内でもNPOによる取組が出始めており、広報、HP等でPRを続けて行きたい。イノシシ等の有害鳥獣駆除については、地域のまとまりが必要であるため市内北部地域の自治会について、説明会等を行っている。、今後も行政だけでなく地元のまとまりが必要であるため、地域の対策について説明等を行っていく。								